

## 緊急連絡

「第 57 回全国卓球選手権大会一般の部  
(2021 年 11 月 13 日 (土) 14 日 (日) 秋田県由利本荘市由利本荘アリーナ開催予定) は  
開催を中止し、代替大会を検討することとします。」

8 月 22 日現在 緊急事態宣言が 13 都府県、まん延防止等重点措置が 16 道県に発出されています。医療のひっ迫が叫ばれています。新型コロナウイルス感染症にたいして適切な対応がされているとは言えない状態であることも事実です。

全国大会は、大会を通して日頃の活動の成果を確認する場であり、対戦競技として相手なくして競技がなりたたない性格から相手をリスペクトすることが大切となります。頂点をめざす人が集まり、しのぎを削り、自身の持つ力のすべてを出し切り互いがそれを認め合う関係性が大切です。

コロナ禍という条件が今回の大会にどのように影響し、開催の判断基準をどこに置くのか、だれもが納得できる形を目指していかなければなりません。

また開催県の協力なしには開催もありえません。すでに多くの都道府県で予選会は終了していますが、若干は残されていて開催が危ぶまれているところがあります。予選会を開催できずに選手を推薦することも考えなくてはならないところもあります。

また、全国大会の開催の可否そのものの最終判断をいつにするのかも大問題です。例えば開催 1 か月前とすると、各県に発信、各クラブ・個人に連絡。会社への有給休暇などの申請、調整なども大切です。中止の場合それにとまなう関係各機関への連絡、体育館、自治体、取引先等など。はたして可能か検討しなければなりません。

コロナの現状を見たとき、開催 1 か月前までに改善される見通しは立たないと考えます。しかしながら見切り発車はできないとも判断します。以上の状況から

「第 57 回全国卓球選手権大会一般の部(2021 年 11 月 13 日(土)14 日(日)秋田県由利本荘市由利本荘アリーナ開催予定)は開催を中止し、代替大会を検討することとします。」

2021 年度内、もしくは 2022 年度初めに会場を確保して延期という形をとりたい。代替会場は当初の予定通り東北方面で複数会場を対象に検討し始めています。代表になられ、準備を進められている皆さんにはまことに申し訳ないことですが、新しい会場と日程が決まるまでお待ちください。また、新日程・新会場では参加できないかたには参加費は返金いたします。

なお、年代別の部の開催においては予定通り開催する方向で準備を進めております。

2021.8.25 新日本スポーツ連盟全国卓球協議会 理事長 鈴木義弘